

数学

京都大学[文系] (前期)

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・変化なし・増加) 難易 (易化・変化なし・難化)

出題の特徴

論証は4 (2) だけだが、他の問題も記述力が要求されている。

その他トピックス

近年、小問の誘導がない出題であったが、本年は小問のついた問題が3問出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	積分法	数学II	3次関数のグラフと接線で囲まれた部分の面積を求める	標準
2	整数・対数	数学A 数学II	決められた範囲に含まれる素因数の個数を求める	難
3	空間座標	数学B	空間における正三角形の頂点の座標を求める	標準
4	三角関数、整数	数学II 数学A	tan の加法定理、方程式の整数解	標準
5	確率	数学A	さいころを n 回振り、出た目の最大値と最小値の差の確率を求める	標準

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

標準的な問題を確実に解く力をつけ、論理的に記述する力をつけておきたい。本年は小問のついた問題が多く出題されたが、京大は基本的に小問による誘導がされない問題を出題するので、自分で解法の糸口が見つけられる学力をつけておかなければならない。